

6

なんたじ
そのウツは
きまーす

いって
きまーす

サウカの
シューカ

そのウツは
きまーす

子供ながらに
親の負担を
思いやりの
でして……

遠く関東から
留学している
サウカ大好きの
子ですが

本当はウツが
欲しいのに
ガマしているん
です

そう、
子供たちは
自分自身で
学んで行くん
です

7

山びこ山村塾の
子供たちの活動は
実に多彩だ

動物の世話

川釣り

稲刈り

田植え

サイクリング

登山キャンプ

ボランテア

いろいろな

海外旅行も
沢山の経験が
スバルタ教育は
なく豊かな
感受性を持つ
子供の活動
がある

8

小学生の
四〇〇〇メートル級
キナバル峰登山は
日本初の快挙と
なった

子供たちのこの一年は
決して人生の
100年ではない。
成長し親となり
人生を過す上での
幅と感受性を
心に刻む一年である
それは
やまびこのように
心にこたまし続け
るだろう

9

平成四年一月
ホルネオ島マレーシア
キナバル峰

10

コト
鹿本郡鹿鹿町
やまびこ山村塾

小学三年生から
六年生までの十八名が
山村留學で年間
共同生活を行っている

入塾式と
断髪式が
あり
生活が始まる

最初は不安や
ホームシックに
かかる子供たちも
あります

自然の中で
いまままの
活動をする
自主性を
発達した

掃除

食事

あどかたつけ

山びこ山村塾で
子供が
変わるかつて?

11

親と子、人と人が
共に育ち共に生きる
「共育共生」の思いを
理解する
自治体が
少ない中

二年目には
土地や道路整備等の
提供を受け
塾舎の建築が
行われた

富田従道
菊鹿町長が
受け入れと補助を
快諾

一年間は
民家を借りて

子供を含めた
一月にも及ぶ
長期キャンプを
開催し始めた頃
自然の中での
共同生活は

子供を
閉じた心を開く
ことに気付いた

体調への心配りや
イタスラ等への
保護者の責任は
別として

阿南さんは
子供たちの生活に
決って口を出さな
い

それが
かえり
自主性を育てる
ようになって

「おうち
のママさん
みたいだ
だんだん
おうち
みたいだ
みたいだ」

「おうち
のママさん
みたいだ
だんだん
おうち
みたいだ
みたいだ」

12

自然はぼくらの先生

朝日へのガンミルゴールと共に
子供たちの一日は始まる

西島淳之介

13

まあ体力は
つきませんが
人間年々で
変わるも
んじやありま
せん

塾長
阿南誠志さん

奥さん
まゆみさん

ただ
ここの体験
は残ります

これからの成長
そして人生に
少なからず
役立つと思
います

それで
いんそま

本業はアウトドア
用品店社長
二十五歳で脱サラ
店を持つと同時に
「熊本自然を愛する会」
を仲間と発足

子供を含めた
一月にも及ぶ
長期キャンプを
開催し始めた頃
自然の中での
共同生活は

子供を
閉じた心を開く
ことに気付いた

体調への心配りや
イタスラ等への
保護者の責任は
別として

阿南さんは
子供たちの生活に
決って口を出さな
い

それが
かえり
自主性を育てる
ようになって